

**製品名: ヒストン H3 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe83882**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ICC,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.34mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ICC 1:50-1:200,FC 1:20-1:100
分子量	15 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	HistoneH3
別名	Histone H3.1, Histone H3, HIST1H3A;;Histone H3
遺伝子 ID	
SwissProt ID	P68431
免疫原	ヒトヒストン H3.1 由来の合成ペプチド

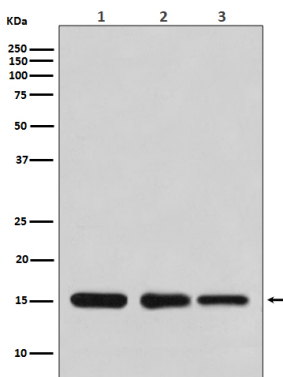
**背景**

ヌクレオソームの中核構成要素。ヌクレオソームは DNA をクロマチンに包み込み、DNA を鋳型として利用する細胞機構への DNA の

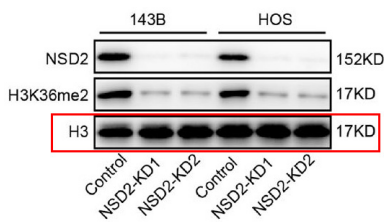
アクセスを制限します。そのため、ヒストンは転写制御、DNA 修復、DNA 複製、そして染色体の安定性において中心的な役割を果たします。DNA へのアクセスは、ヒストンの複雑な翻訳後修飾（ヒストンコードとも呼ばれます）とヌクレオソームリモデリングによって制御されています。

## 研究分野

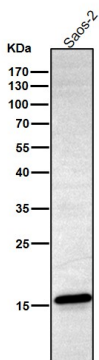
## 画像データ



(1) HeLa 細胞溶解物、(2) NIH/3T3 細胞溶解物、(3) ラット脳溶解物におけるヒストン H3 発現のウエスタンブロット分析。

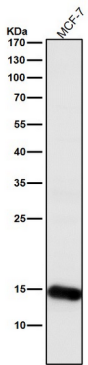


ヒストンメチルトランスフェラーゼ NSD2 は骨肉腫におけるアポトーシスと化学療法感受性を制御する。-細胞死と疾患

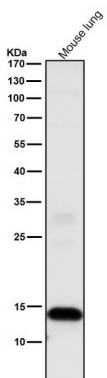


すべてのレーンでは、抗体を 1:2K 希釈で室温で 1 時間使用します。

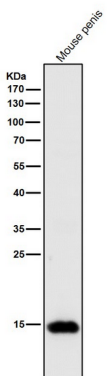
すべてのレーンでは、抗体を 1:2K 希釈で室温で 1 時間使用します。



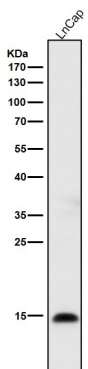
すべてのレーンでは、抗体を 1:2K 希釈で室温で 1 時間使用します。



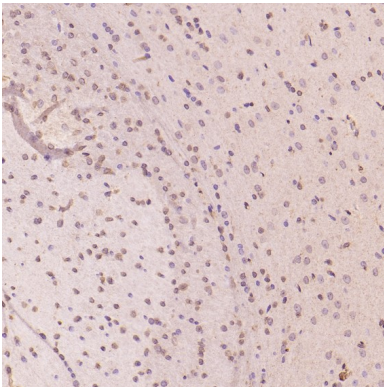
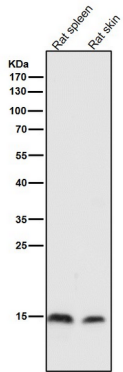
すべてのレーンでは、抗体を 1:2K 希釈で室温で 1 時間使用します。



すべてのレーンでは、抗体を 1:2K 希釈で室温で 1 時間使用します。



すべてのレーンでは、抗体を 1:2K 希釈で室温で 1 時間使用します。



1:200 希釈の抗体を使用した、パラフィン包埋ラット大脳皮質の免疫組織化学分析。